



# 鹿児島県内経済情勢報告

令和5年4月

財務省九州財務局  
鹿児島財務事務所



(問い合わせ先)

九州財務局 鹿児島財務事務所 財務課


TEL 099-226-6155

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/kagoshima/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	




（注）5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、百貨店・スーパー販売や宿泊・観光施設などで客数の増加傾向が続いていることから、持ち直している。生産活動は、在庫調整の動きが拡大するなど、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	弱含んでいる	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	

設備投資	4年度は増加見込み	4年度は増加見込み	
企業収益	4年度は減益見込み	4年度は減益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「持ち直している」

「百貨店・スーパー販売」は、催事が集客につながり、客足の伸びがみられていることから、持ち直している。「家電大型専門店販売」は、引き続き堅調である。「ドラッグストア販売」は、化粧品などに動きがみられており、前年を上回っている。「コンビニエンスストア販売」は、観光地や繁華街の店舗を中心に売上が増加している。「乗用車の新車販売」は、軽乗用車の届出台数が増加するなど、持ち直しつつある。「宿泊者数」及び「主要観光施設入場者数」は、助成事業の下支えなどにより、客数の増加傾向が続いていることから、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 食品催事の根強い人気により、総菜や弁当類がよく売れている。また、春物衣料において買い控えの動きがみられたものの、入学式などの春の行事に合わせてフォーマルウェアを新調する顧客が多かった。(百貨店・スーパー)
- 買上点数が減少している状況にあるものの、イベントや特売日での客数が増加しているほか、単価が上がっていることから売上は堅調である。(百貨店・スーパー)
- 省エネ性能の高い家電への買い替え需要が堅調で、冷蔵庫などの白物家電では高単価商品の売れ行きが良い。(家電大型専門店)
- 消毒液といった衛生用品に落ち着きが見られる一方、外出機会の増加により化粧品の売上が伸びている。(ドラッグストア)
- 観光地や駅周辺の店舗で回復傾向が続いているほか、繁華街の店舗でも飲み会の増加により夜の時間帯の売上が伸びている。また、値上げにより、弁当類から値上げ幅の小さいおにぎりなどに売れ筋がシフトしている。(コンビニエンスストア)
- 軽乗用車は半導体の部品が少ないことから、早いものは1か月で納車出来るようになった。(自動車販売店)
- 客室稼働率が改善しているなか、人手不足感が強まっており、宴会などの需要をうまく取り込めていない。(県内宿泊施設)
- チャーター便やクルーズ船の再開に伴い、体験型観光を目的とした外国人客が増加している。(県内観光施設)
- 全国旅行支援の効果などにより、国内旅行の売上はコロナ禍前を上回って推移している。コロナ感染症が5類に引き下げられることもあり、ゴールデンウィークにかけての予約も良好。(旅行代理店)
- 客足・売上ともに回復基調にあったが、足下では値上げの影響もあり回復ペースが鈍化している。(県内飲食店)

### ■ 生産活動 「弱含んでいる」

主な業種をみると、「窯業・土石製品製造業」は、弱い動きとなっている。「電子部品・デバイス工業」は、在庫調整に伴い減少した受注の回復に目途が立たず、足踏みの状況にある。「食料品工業」は、横ばいの状況にある。

- 公共工事・民間工事ともに減少しており、生コンクリート及びコンクリート2次製品の需要が減少している。(窯業・土石製品製造業)
- 半導体不足により取引先で在庫調整が行われるなど受注の減少が継続しており、回復の目途が立っていない。(電子部品・デバイス工業)
- サツマイモ基腐病の影響で、秋の収穫時期に焼酎の原材料となるサツマイモを十分に確保できなかったことから、工場稼働率は目標を下回っている。(食料品工業)
- 物価高と鳥インフルエンザの感染拡大の影響で豚肉の需要が高まり、工場稼働率が上がっている。(食料品工業)

### ■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、高水準で推移している。新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業などを中心に前年を上回っている。

- 新規求人数は、インバウンド需要の回復や国内旅行客の増加を受け、宿泊業・飲食サービス業などで前年を上回っている。(公的機関)
- 従業員の募集を行っているが、応募が少ない状況が続いている。(宿泊業)

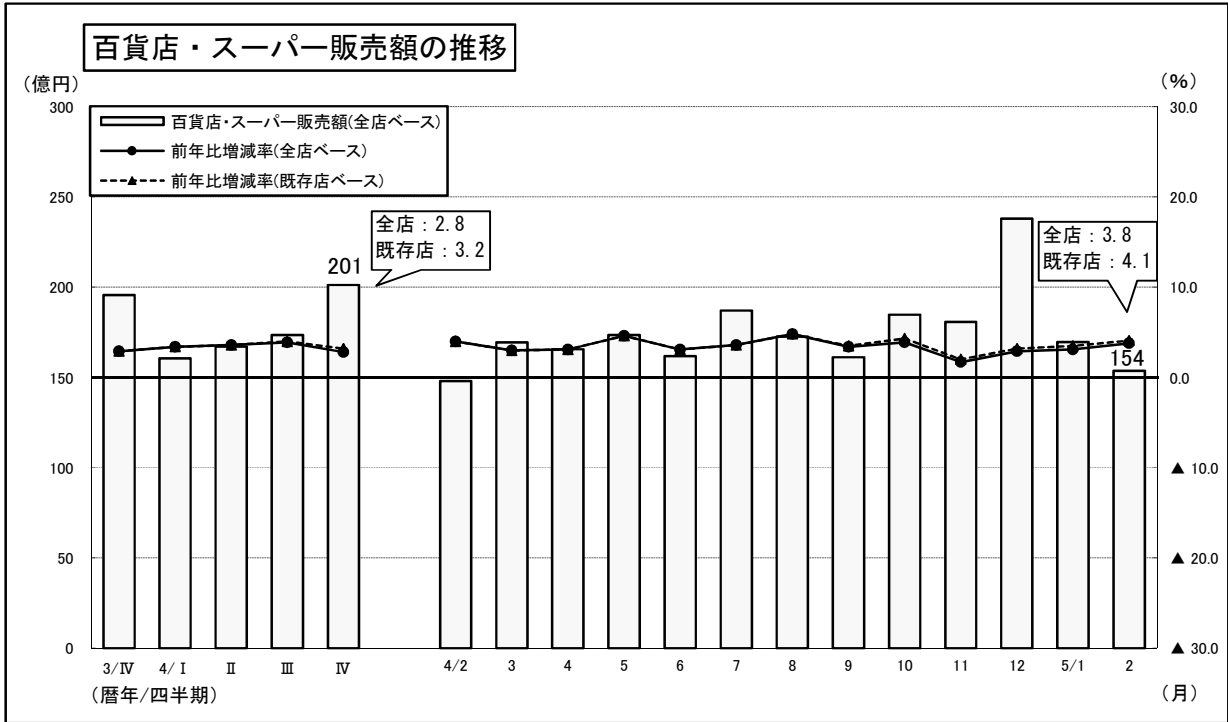
- **設備投資** 「4年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期
  - 製造業では「パルプ・紙・紙加工品製造業」などで減少となるものの、「情報通信機械器具製造業」などで増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
  - 非製造業では「金融業、保険業」などで減少となるものの、「学術研究、専門・技術サービス業」などで増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
  
- **企業収益** 「4年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期
  - 製造業では「食料品製造業」などで増益となるものの、「情報通信機械器具製造業」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
  - 非製造業では「運輸業、郵便業」などで増益となるものの、「鉱業、採石業、砂利採取業」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
  
- **住宅建設** 「前年を上回っている」
  - 新設住宅着工戸数(4年12月-5年2月)は、前年を上回っている。
  
- **企業の景況感** 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」5年1-3月期
  - 5年1-3月期の景況判断BSIをみると、全産業で「下降」超となっている。先行きをみると、5年4-6月期は「下降」超の見通しとなっている。
  
- **公共事業**
  - 公共工事前払金保証統計の請負金額(4年度末累計)は、前年度を上回っている。
  
- **倒産**
  - 企業倒産(5年1-3月期)は、件数は前年を上回っているものの、負債金額は前年を下回っている。

## 【参 考 資 料】

1. 個人消費 .....	参-1
2. 生産活動 .....	参-4
3. 雇用情勢 .....	参-6
4. 設備投資 .....	参-7
5. 企業収益 .....	参-8
6. 住宅建設 .....	参-9
7. 企業の景況感 .....	参-10
8. 公共事業 .....	参-11
9. 倒産 .....	参-12

# 1. 個人消費

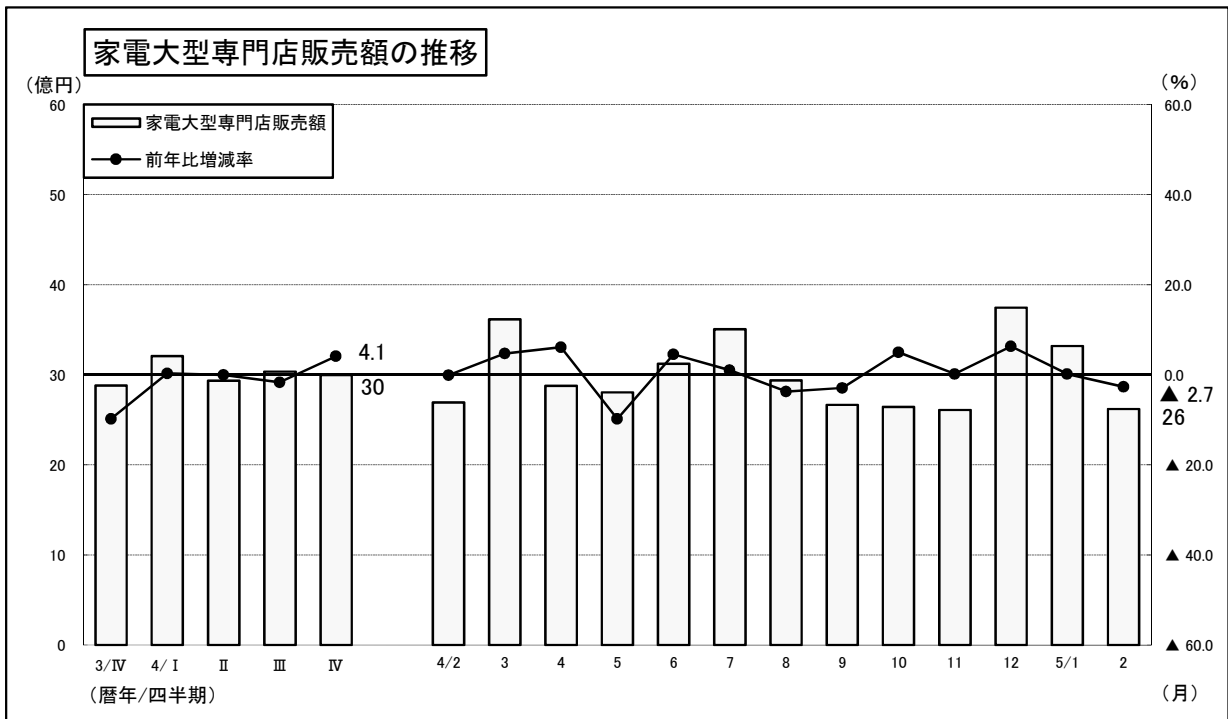
資料 1



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

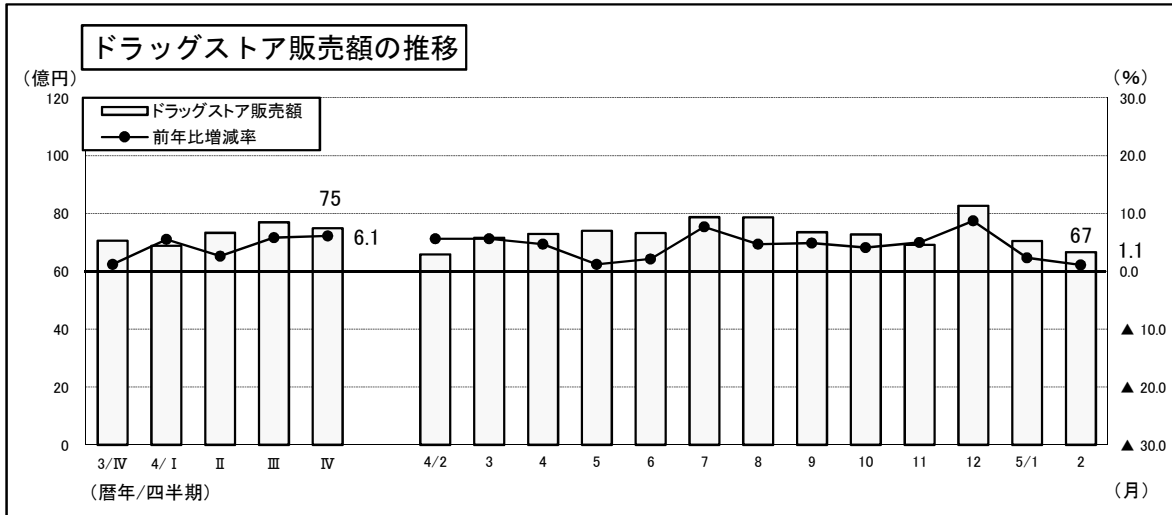
資料 2



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

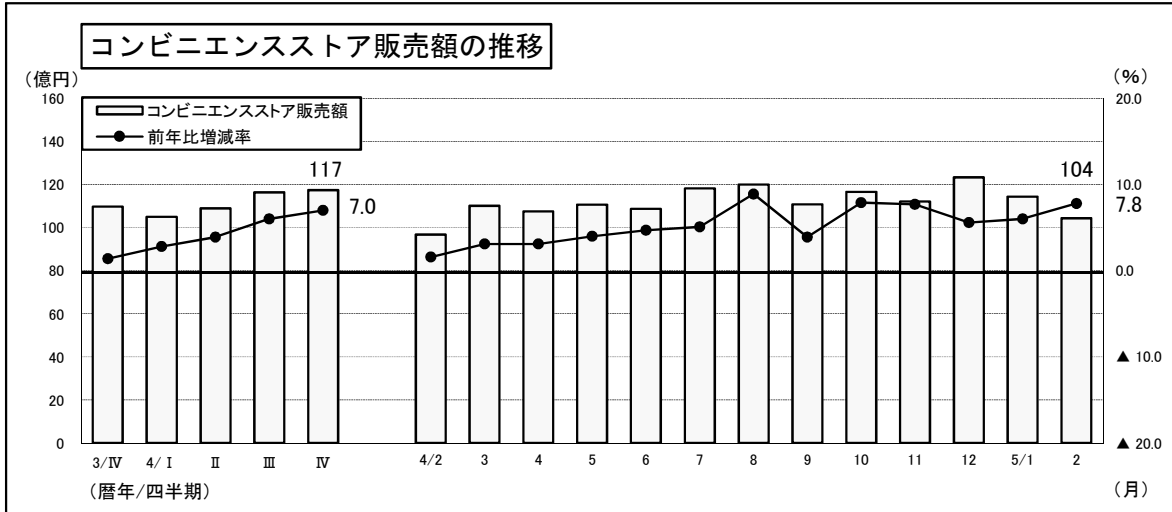
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

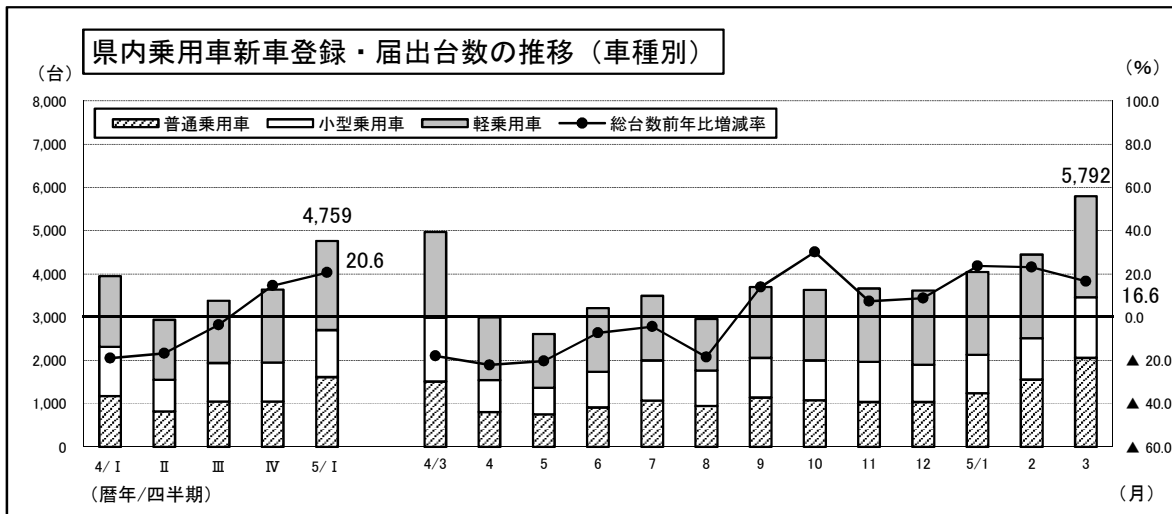
資料4



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

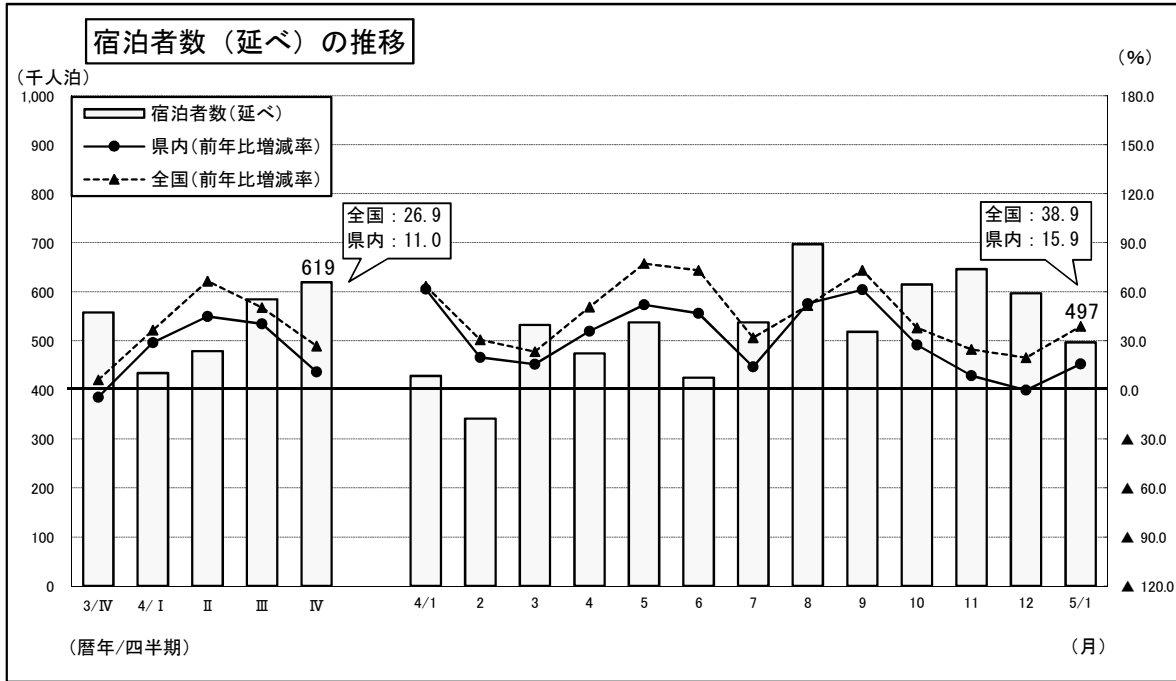
資料5



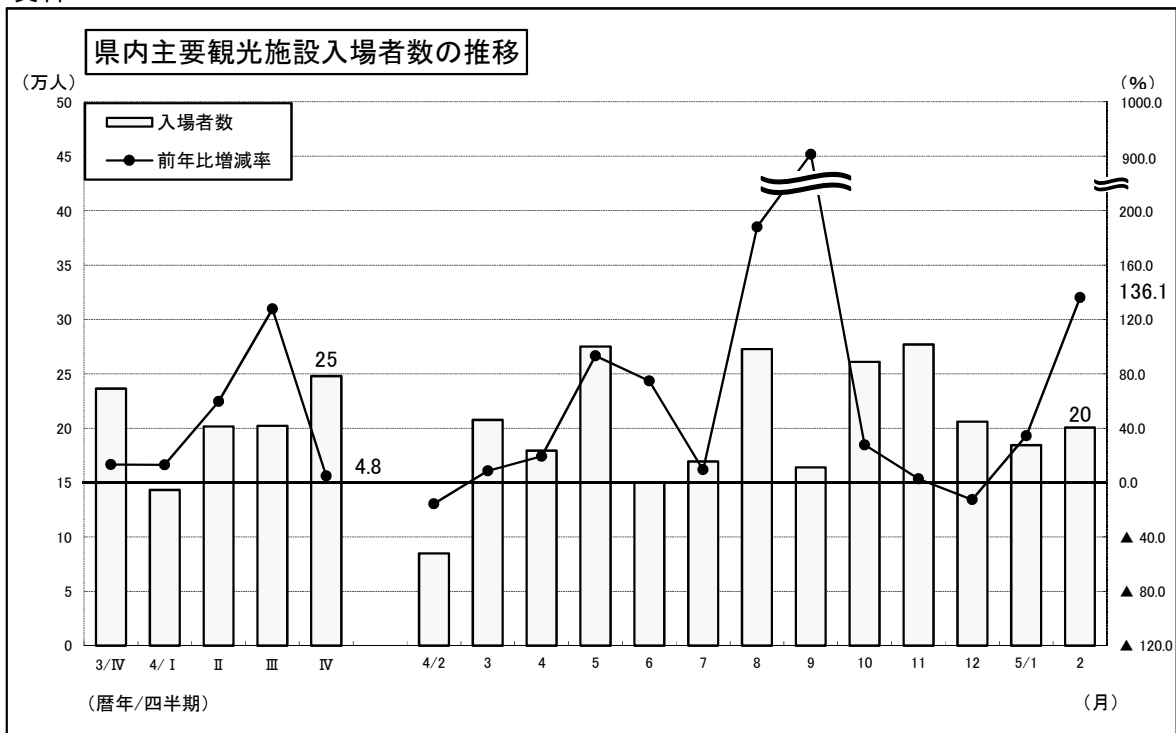
注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省、全国軽自動車協会連合会)

資料 6



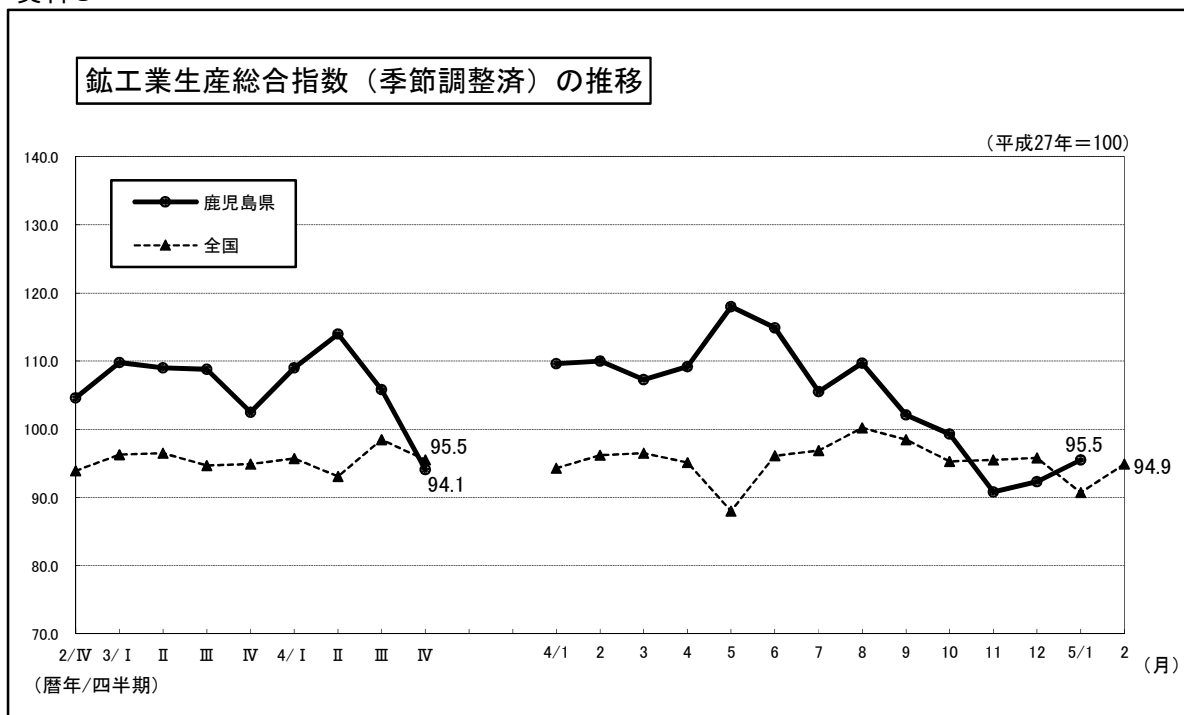
資料 7





## 2. 生産活動

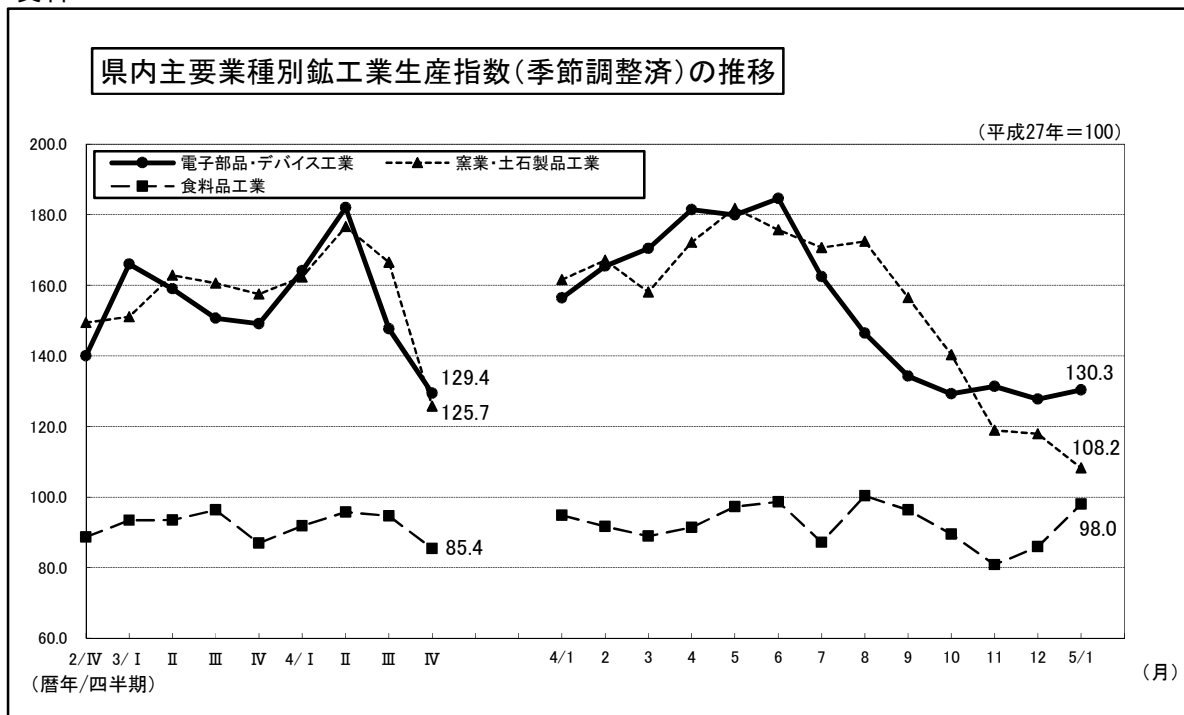
資料 8



注：鹿児島県の5年1月は速報値。

(資料：経済産業省、鹿児島県)

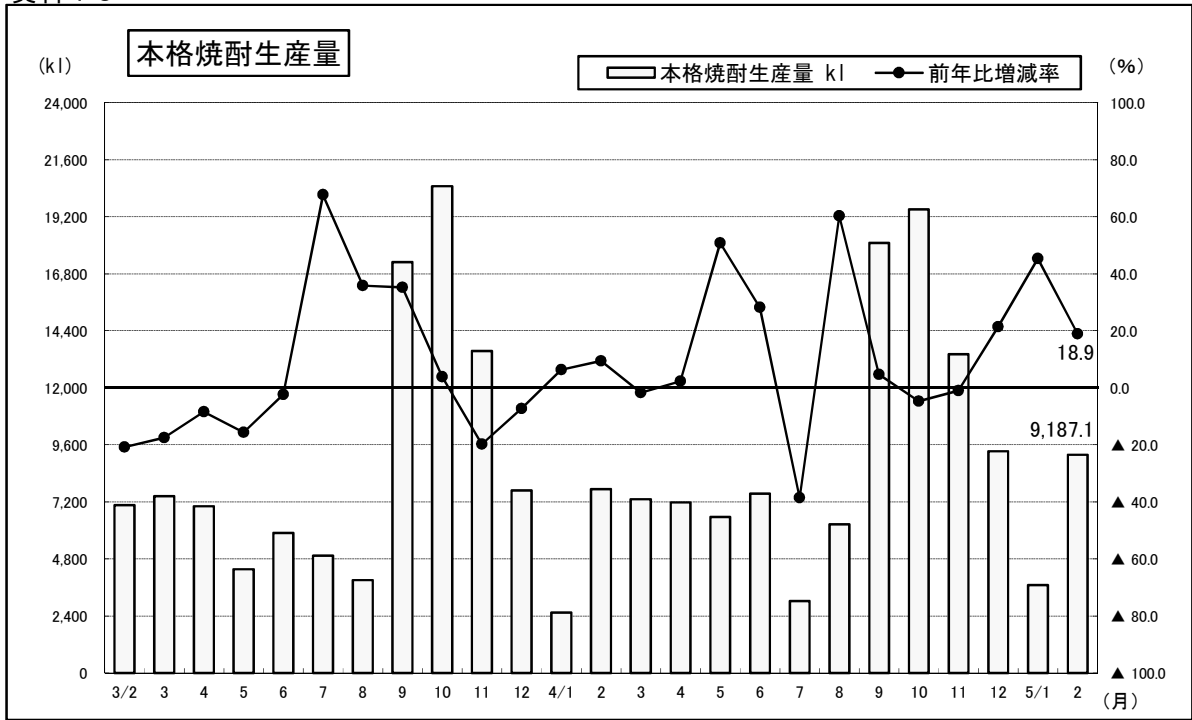
資料 9



注：5年1月は速報値。

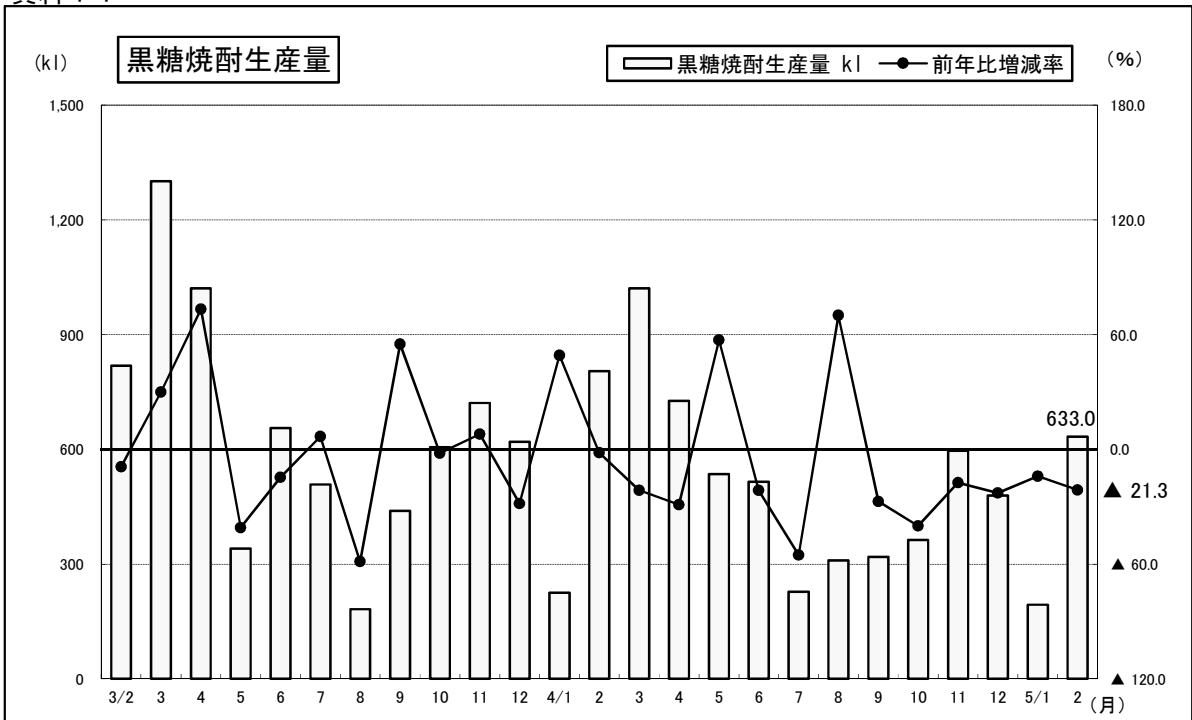
(資料：鹿児島県)

資料 1 0



(資料：鹿児島県酒造組合)

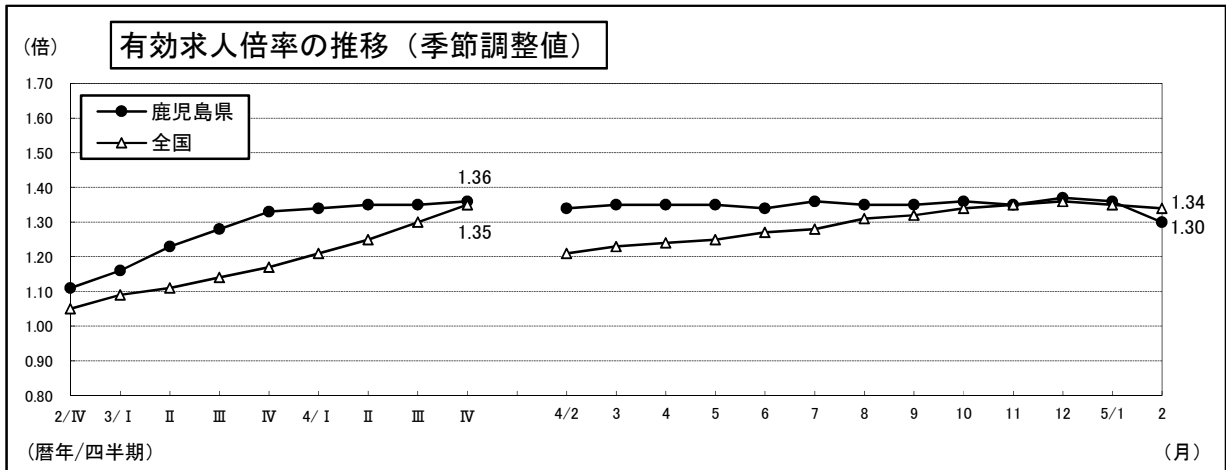
資料 1 1



(資料：鹿児島県酒造組合)

### 3. 雇用情勢

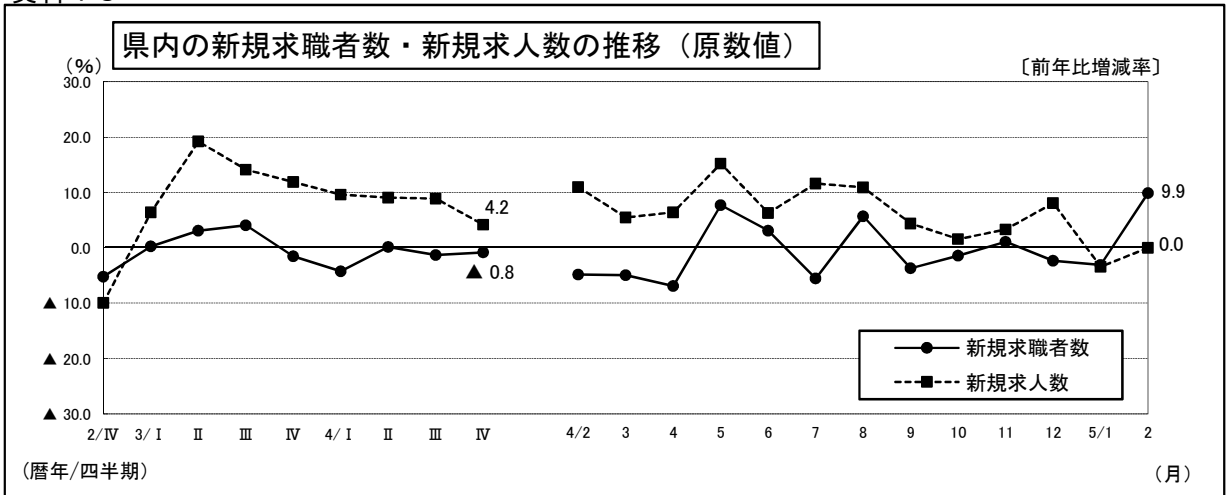
資料 1 2



注：パートを含む。

(資料：厚生労働省)

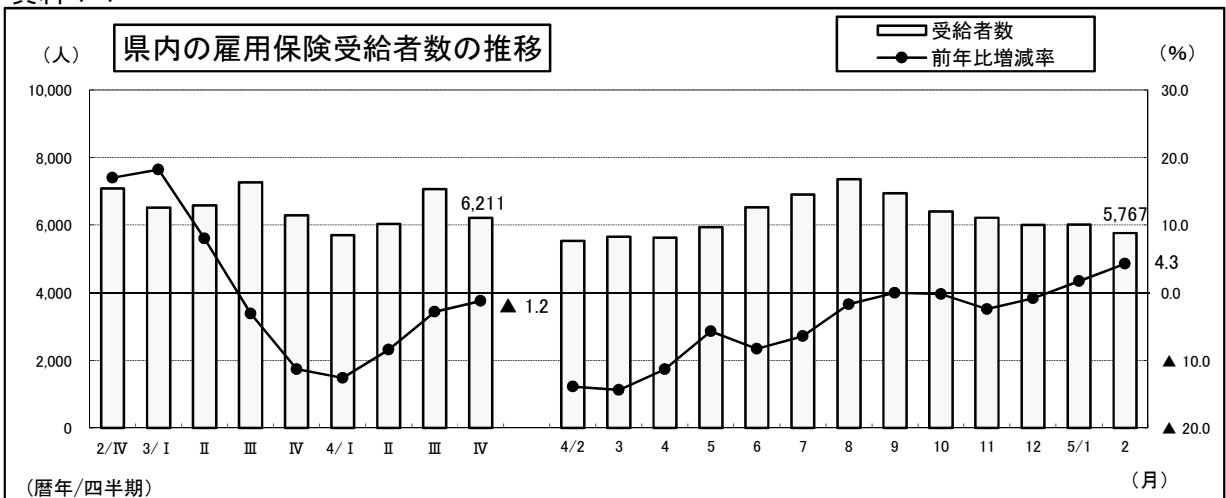
資料 1 3



注：パートを含む。

(資料：厚生労働省)

資料 1 4

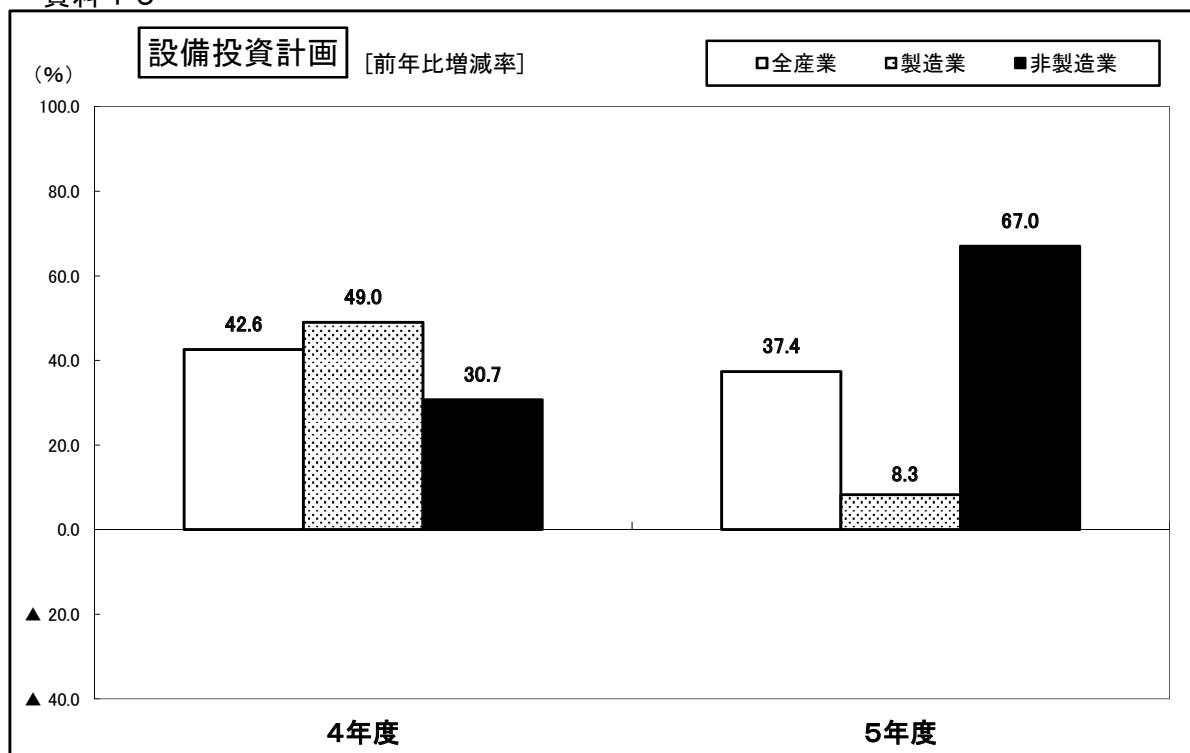


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

(資料：厚生労働省)

## 4. 設備投資

資料 1 5



設備投資[前年比増減率]

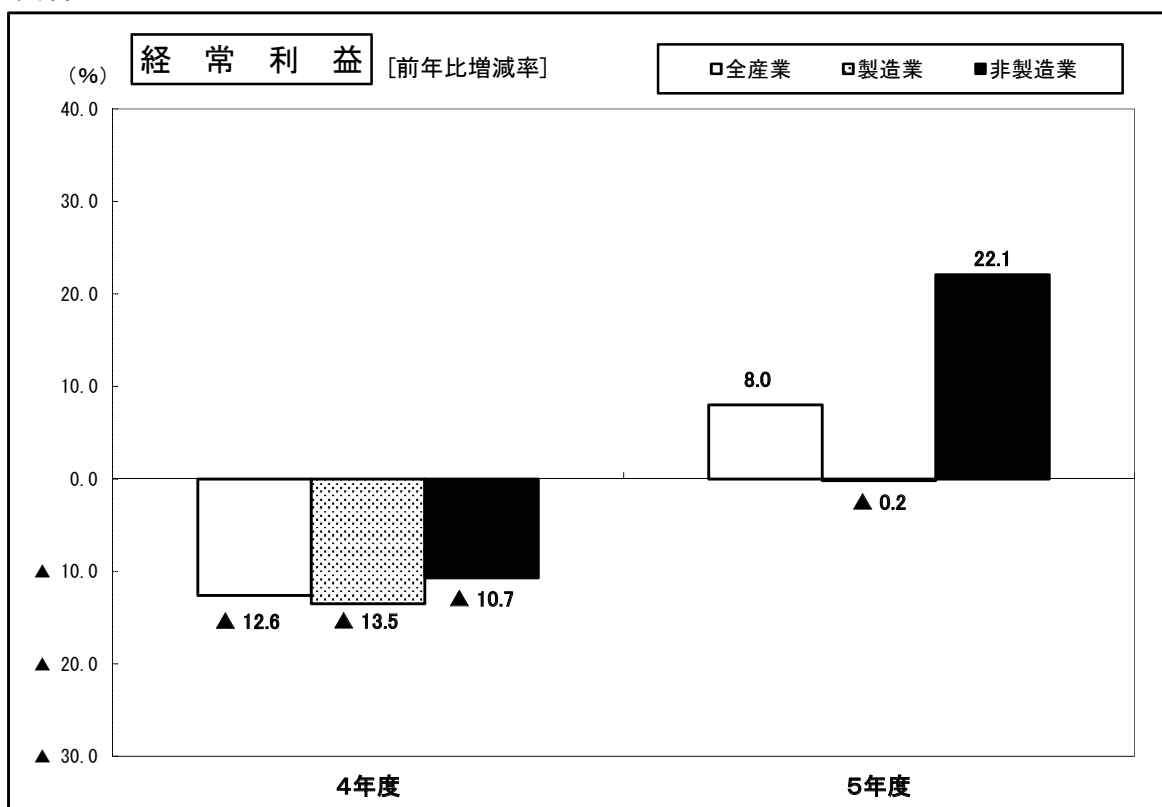
(単位：社、%)

	回答 企業数	4年度	回答 企業数	5年度
全産業	84	42.6	74	37.4
製造業	26	49.0	22	8.3
非製造業	58	30.7	52	67.0
大企業	18	38.5	14	65.8
中堅企業	22	153.0	18	0.3
中小企業	44	▲ 43.2	42	39.3

(資料：鹿児島財務事務所(法人企業景気予測調査))

## 5. 企業収益

資料 1 6



経常利益[前年比増減率]

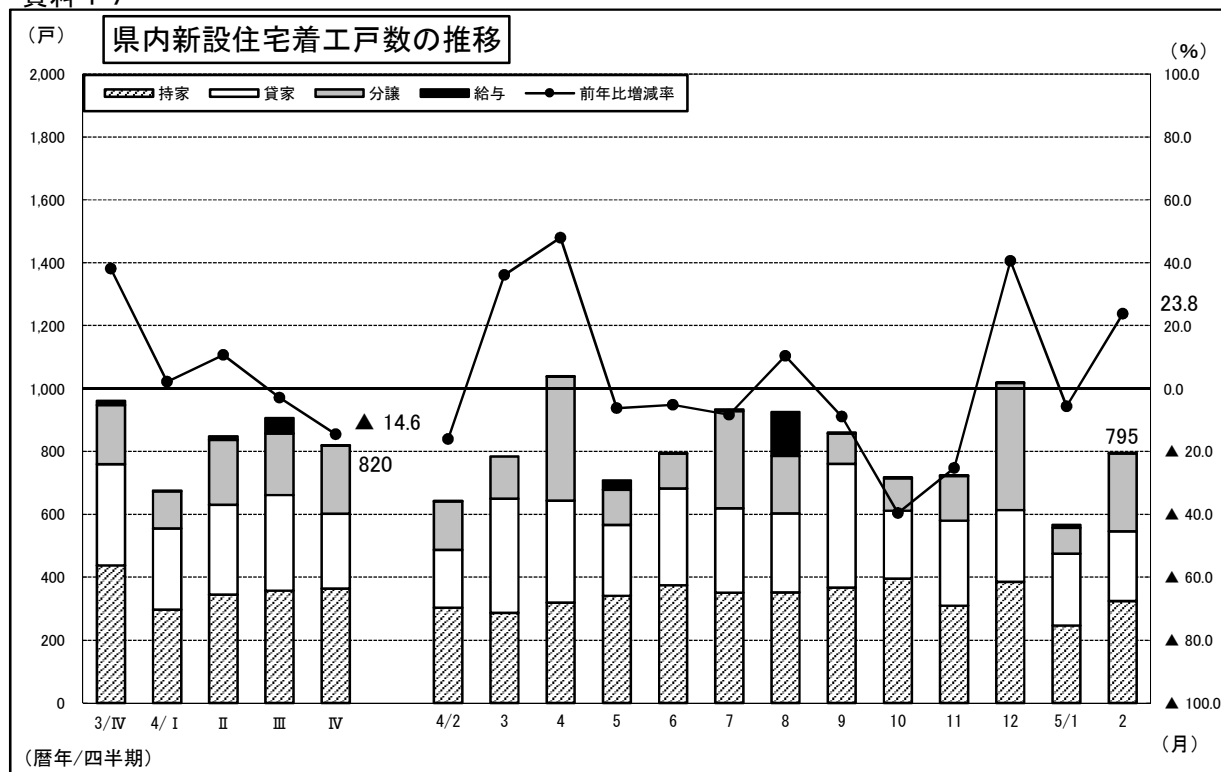
(単位：社、%)

	回答 企業数	4年度	回答 企業数	5年度
全産業	74	▲ 12.6	62	8.0
製造業	24	▲ 13.5	20	▲ 0.2
非製造業	50	▲ 10.7	42	22.1
大企業	11	▲ 15.0	7	▲ 11.5
中堅企業	19	▲ 7.2	14	38.1
中小企業	44	18.0	41	27.5

(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

## 6. 住宅建設

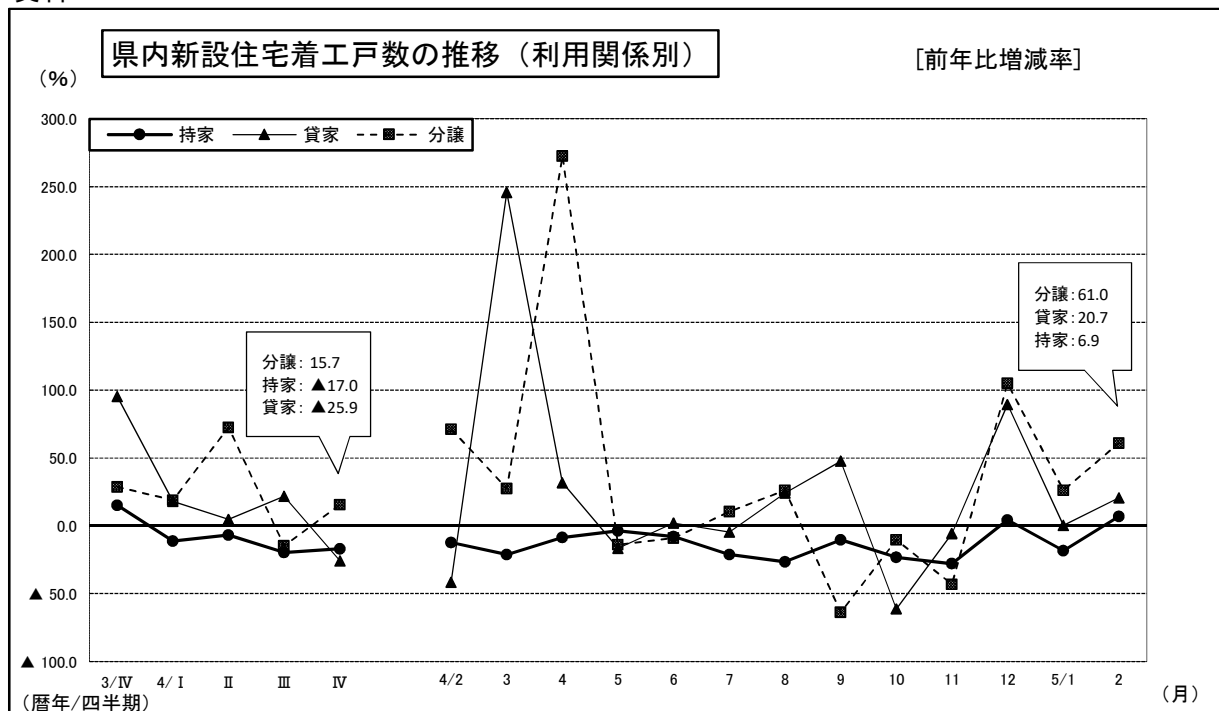
資料 1 7



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省)

資料 1 8

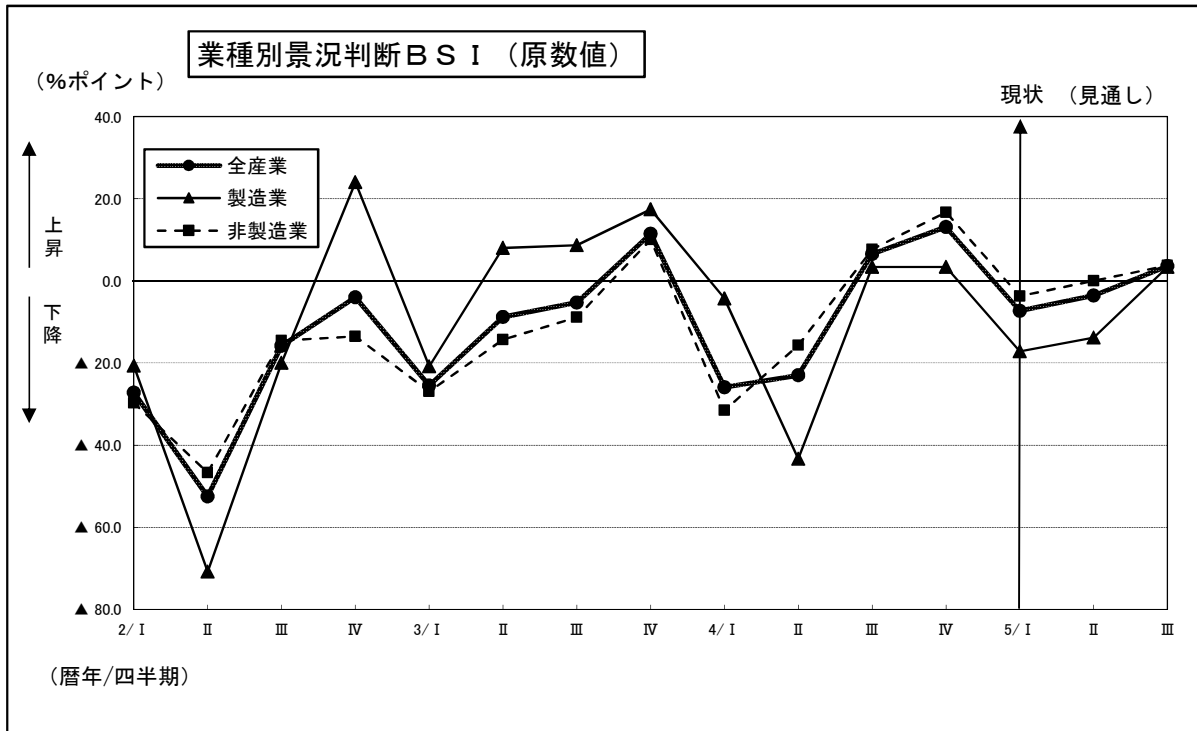


注：給与住宅については、些少であるため表記していない。

(資料：国土交通省)

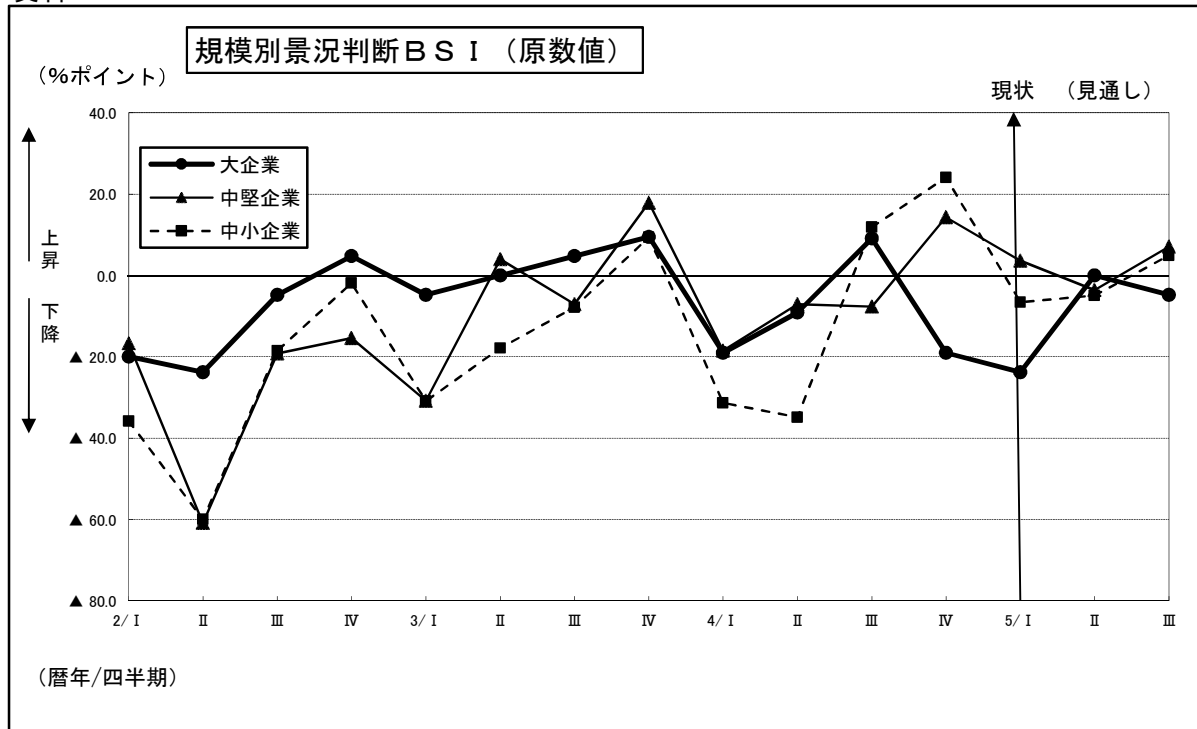
## 7. 企業の景況感

資料19



(資料：鹿児島財務事務所 (法人企業景気予測調査))

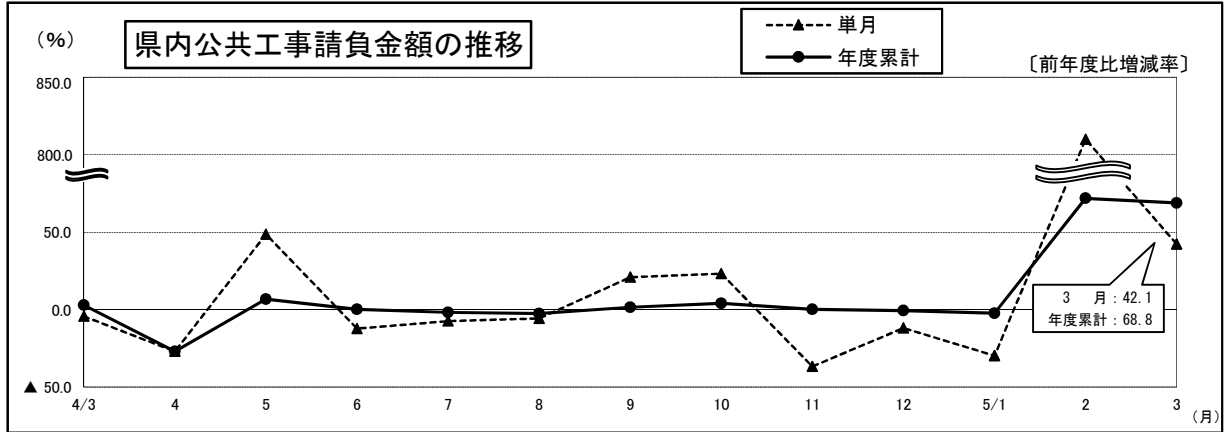
資料20



(資料：鹿児島財務事務所 (法人企業景気予測調査))

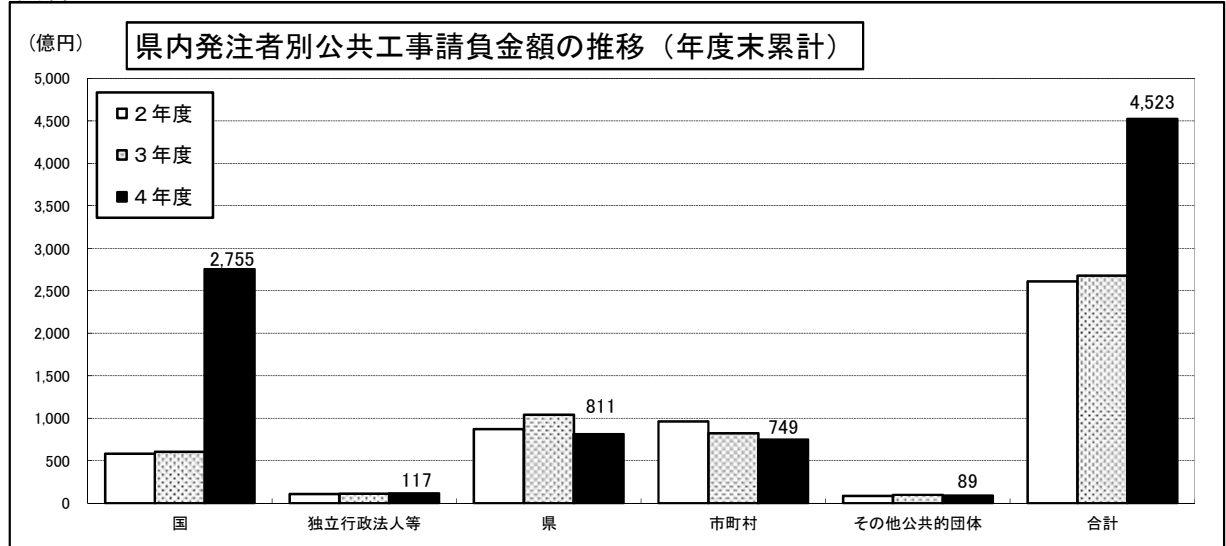
## 8. 公共事業

資料 2 1



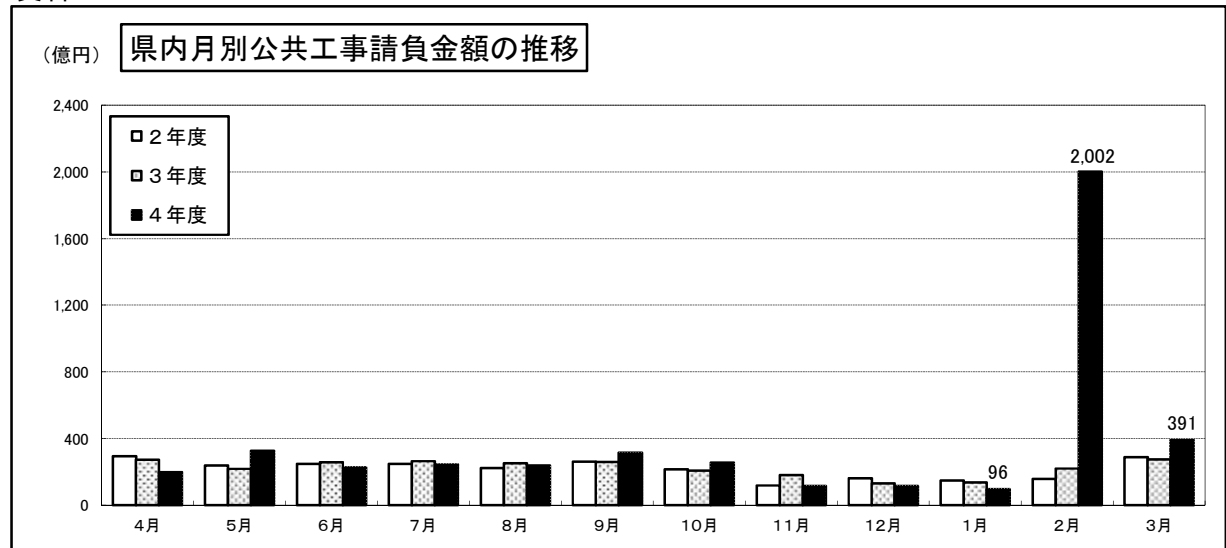
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料 2 2



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料 2 3

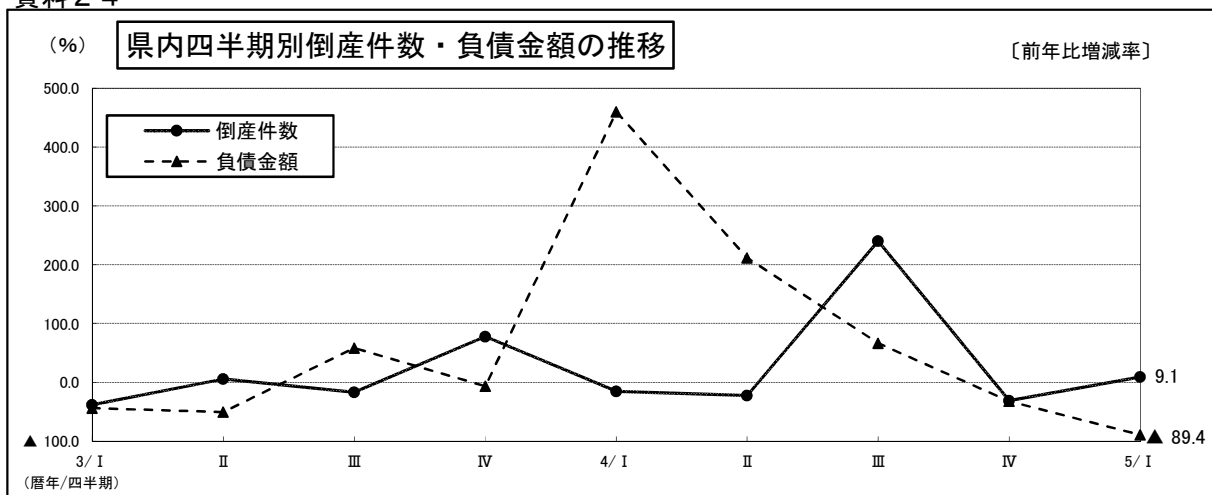


(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)



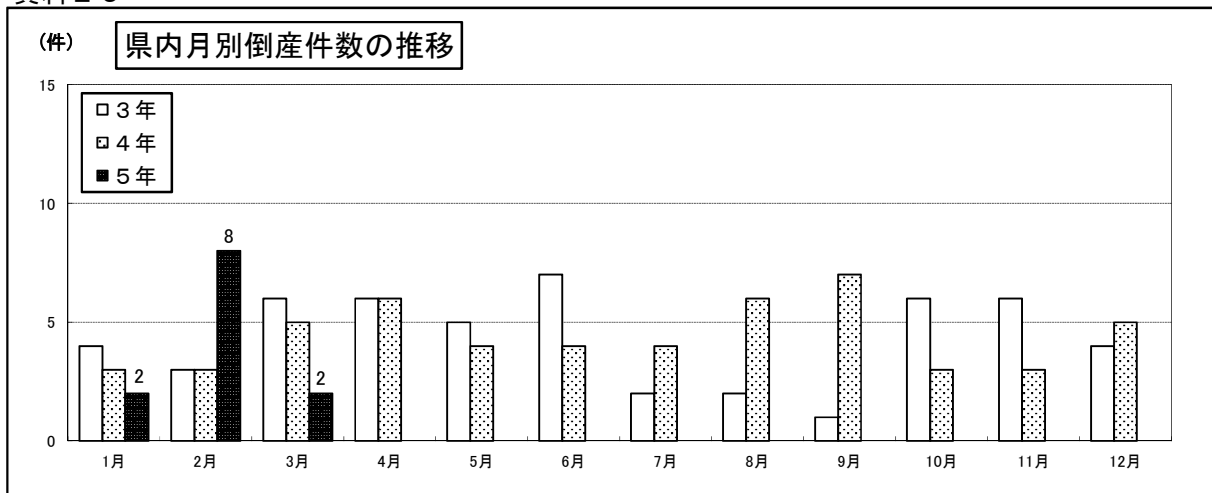
## 9. 倒産

資料 2 4



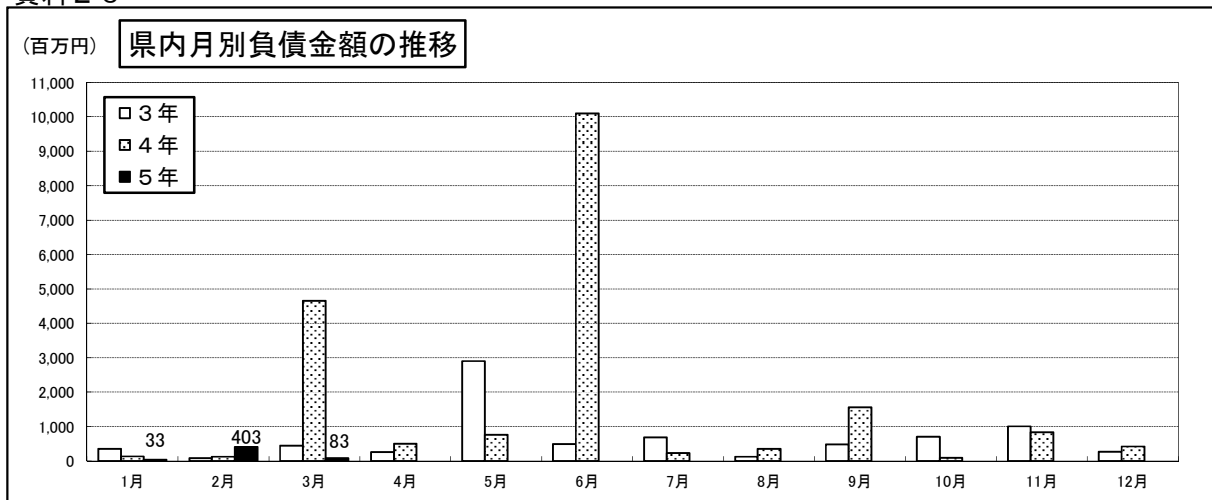
(資料：東京商工リサーチ)

資料 2 5



(資料：東京商工リサーチ)

資料 2 6



(資料：東京商工リサーチ)